

(仮称) 石狩・八幡小学校 校名の決定に向けて

1 校名募集の周知方法、スケジュール (案)

(1) 募集チラシ・・・別紙 (案)

- ① 町内会回覧 : 5/25 (金) ~
(石狩小・八幡小・聚富小の通学区域: 全 21 単位町内会・178 班)
- ② 児童 (家庭) へ配付 : 5/21 (月) ~
- ③ 学校・施設へ配置 : 6/1 (金) ~
(「応募箱」の設置場所
・・・石狩小、八幡小、石狩中、聚富小中、観光センター、八幡コミセン・市教委)

(2) 市ホームページ : 5/25 (金) ~

(3) 広報いしかり 6 月号 : 5/25 (金) ~

(4) 報道機関への広報メモ配信 : 5/24 (木) ※新聞記事掲載の依頼

(5) 学校便りへの掲載 : 6/ ()

2 募集後の取り組みについて ~ 校名の決定までの流れ (案) ~

◆ これまでの協議 (論点整理)

【募集方法 (対象範囲、周知)】

- ・ 募集対象、範囲は、ある程度制限した中で行うのがよい。
- ・ 市広報、町内会回覧で広く行う。
- ・ 町内会での取組をお願いします。
- ・ 事前周知が大事。募集が始まる前に新聞等の報道機関を使って、校名募集のニュースを出してもらうようにする。
- ・ 子どもからの募集にあたって、学校の先生は日々忙しい中で負担をかけるかもしれないが、強制ではない形で応募してもらえよう、自主的に出したいという機運を作っただけならばと思う。
- ・ 3つの小学校の校区と (その他) 市内在住の方とするのがいいと思う。両校の卒業生が今回の統合を見守っていると思うので。
- ・ 市内在住の方で、一人一点として想いを込めた校名を応募してもらうようにしたほうがいい。

【両校と地域が歩んできた歴史に留意する】

- ・ これまでの地域の歴史を振り返り、踏まえた上で決めてほしいと思っている方は、少なくないのではないか。
- ・ 石狩小が閉校し、八幡小と統合することになったが、「石狩」という名前は残してほしいという（石狩小がある本町地区の）地域からの声。
- ・ 子ども達がこれからの未来の学校をつくるのはもちろんだが、未来は過去から積み上げられてきているということに焦点を当てなくてはならないと思う。

【子ども（児童）の意見】

- ・ 子どもが考えた校名案だけで決めてしまうと、これまでの歴史や地域の思いが入らない可能性がある。そのようにならない手法で決めていきたい。
- ・ 児童に最終的に決めさせるのはどうか。（学校で学ぶのは子ども達だが、設立するのは大人達。校名を決めるのは大人の責任ではないか。）
- ・ これまでの歴史や伝統はもちろん大切だが、これからの伝統を作っていくのは子ども達である。全てを大人だけで決めるのではなく、子どもの意見を聴くことは必要である。（子ども達が気持ちよく学校へ通えるように。）
- ・ 子ども達からも募集することで、子どもの意見を聴く機会は設けられている。（最終決定を子どもの投票とすることにしなくてもいいのではないか。）
- ・ 学校（先生）が各クラスで、子ども達に促していただいて応募してくれたら、子ども達の意見はしっかり残ることになる。

【決め方】

- ・ 設立準備委員会で、ある程度絞っていく形がよいのではないか。
- ・ 最終的には、校名案の中から設立準備委員会が決定する形をとったほうが良いと思う。
- ・ 校名案をいくつかに絞り込んで、町内会や地域の方々に投げかける形もあると思う。
- ・ 校名案をいくつかに絞り込んで、最後に子ども達の投票で決めさせるのが一番良いと思う。
- ・ 子ども達の投票結果で最終決定とするのではなく、その結果を踏まえて設立準備委員会で話し合って決めてはどうか。
- ・ （初めは子ども達の投票が良いと思っていたが、）過去と未来をつなぐという意味では、大人が最終判断を下したほうが間違いないという気持ちが出てきた。決定までにかかる時間も考えると、設立準備委員会で決めることにしたほうがスムーズに進められるのではないか。

◆ 論点のポイント

- ① 「子どもの意見を聴く」の考え方、捉え方
- ② 「最終的な絞り込み」を設立準備委員会として、どこまで行うか。

⇒ 大人が決めるか。子ども達に決めてもらうか。

◆ 現時点の方針（案）

募集締切後、全ての校名案を集約 ※次回会議：7/ にて



【第一段階】 明らかにふさわしくない校名は除外する。（票数に関係なく）



【第二段階】 校名案の候補として、
「全てを残すか」または「上位〇位までに絞るか」の協議



【第三段階】 「設立準備委員会の協議」または「3校の児童による投票」で決定
(最終決定)

第二段階と第三段階は、応募のあった「校名案・種類」、「票数」、「順位」等の状況がわからなければ判断できない。
よって、最終決定の方法は、全ての校名案を集約した後、次回会議で決定する。

※参考（応募結果のイメージ）

例 40人からの応募があり、10種類（A～J）の校名案が出た場合

(校名案・種類)	(票数)	(順位)	
石狩市立 A 小学校	5人	③	【第二段階】 「上位〇位まで絞り込むか、どうか」 ↓ 【第三段階】 「委員会で決めるか、子どもの投票で決めるか」
B 小学校	10人	①	
C 小学校	7人	②	
D 小学校	2人	⑥	
E 小学校	1人	⑦	
F 小学校	4人	④	
G 小学校	3人	⑤	

H 小学校	5人	【第一段階】 設立準備委員会の協議により（大人の目を通した上で）、 <u>ふさわしくない校名として除外</u> （公序良俗？ すでに使われている など・・・）	
I 小学校	2人		
J 小学校	1人		
合計40人			